

令和7年度 学校教育目標等

1 校 訓

「礼・知・信」

- ※儒教で説く五常より引用
- | |
|-------------------------------|
| 礼・・・人の世に秩序を与える礼儀礼節 |
| 知・・・人や物事の善悪を正しく判断する知恵 |
| 信・・・心と言葉、行いが一致し、嘘がないことで得られる信頼 |

2 学校教育目標

- (1) 礼儀正しく、誰に対しても敬意と感謝の気持ちを持ち、自分を律して節度ある行動がとれる人
- (2) 主体的に学び、探究をとおして物事を論理的に考え、正しい判断ができる人
- (3) 豊かな心で人を思いやり、有言実行するたくましさを持ち、周囲から信頼される人

3 スクールミッション

- (1) 地域の高校として、地域の教育資源を活用した教育活動を通じて、地域の未来を創っていく生徒の育成
- (2) 郷土を愛するとともに、地域産業の持続的な成長を担う職業人に求められる資質・能力を身に付けた生徒の育成
- (3) 海外農業視察研修をとおして、国際情勢に関する認識を深め、グローバルな視点で農業問題の解決を目指すとともに、実社会で活躍できる生徒の育成
- (4) 中学校教育との接続を踏まえ、集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身につけた生徒の育成

4 3つの方針（スクールポリシー）

- (1) 育成を目指す資質・能力に関する方針
 - 1) 農業における実験・実習やプロジェクト学習をとおして、基礎となる知識や技術を身につけ農業の振興や社会貢献に主体的に取り組むことができる能力
 - 2) 探究的な学習をとおして、主体性や課題解決能力を養い、試行錯誤しながら粘り強さと柔軟な発想で課題を解決していける能力
 - 3) 多様な人々との対話や協働を通じて、人を思いやり、他人を尊重しながら、コミュニケーションをとり、新たな価値やよりよい社会を創造していける能力
- (2) 教育課程の編成及び実施に関する方針
 - 1) 共通科目と農業科目に関する基本的な知識や技術を探究的・対話的・横断的要素を多く取り入れながら学び、社会で通用する実力をつけるための教育課程
 - 2) 観点別評価の結果を生徒にフィードバックし、評価の結果が次の学習意欲につながり、生徒の主体性や課題発見力の育成につながる教育課程
 - 3) 地域や関係機関と協働や体験学習を積極的に取り入れ、自らの可能性や社会貢献意識を高め、多様な進路選択ができる教育課程
- (3) 入学者の受入れに関する方針
 - 1) 動植物や農業を中心とした関連産業に興味を持ち、自らの目標を創り出し、探究しながら実現に向けて努力できる生徒
 - 2) 地域や学校での暮らしをとおして、持続可能な開発目標（SDGs：Sustainable Development Goals）を理解し、自他の生命尊重や他人への思いやりをグローバルな視野で持とうとする生徒
 - 3) 日常のあらゆる場面をキャリア形成の場と捉え、GROWTH MINDSET（自分の成長は経験や努力によって向上できるという考え方）を身につけようとする生徒

5 経営方針

本校の持つ多様な教育資源を活かし生徒の可能性、本校教育の可能性を持続的に探究開発し、地域や産業に寄与できる教育活動の推進に取り組む。

- (1)多様な目的意識、発達状況、生育歴等を踏まえた、生徒一人ひとりの成長を繋ぎ続ける指導。
- (2)基礎的な知識や学力を習得し定着させる継続的な指導の工夫と改善。
- (3)生徒が安全・安心に高校生活をすごし、いじめ問題の予防・再発防止に取り組む指導。
- (4)農業高校としての専門性を活かして、農業を学ぶ姿勢、農業から学ぶ態度等を育成する指導。
- (5)生徒の希望進路の実現に繋がる自己理解、体験的な職業理解、必要な知識・技術の習得を図る指導。
- (6)本校の教育活動の多様な情報発信に取り組み、学校理解や活動PRに繋げる工夫。
- (7)本校特性と地域の支援を魅力化した情報提供、生徒募集活動の展開。
- (8)生徒と保護者、学校関係者との円滑な意思疎通を図り、相互の信頼構築を推進できる教育活動。
- (9)社会実態を踏まえた情報教育、ICT活用の計画・導入推進。
- (10)働き方改革を踏まえつつ、教育の担い手の維持・育成を図るための配置構成と全体バランスを考慮した業務の均衡化に努める。

6 指導上の重点事項

重点目標	対話を通して、生徒一人ひとりが自らの理解を深めながら、多様な価値観を尊重し関わる他者への理解力を育み、相互の関係性を構築できる能力を育て、将来の可能性に挑む意欲と態度を主体的に身に付ける指導に取り組む
学習指導	・生徒の学力実態を踏まえて、各教科が連動した個別最適を図る学習支援の推進 ・積極的な授業公開や授業評価による授業改善の推進 ・各教科や系統等が連携した探究的な学習姿勢の育成と家庭学習習慣の養成 ・社会状況に応じた学習形態、実習形態の工夫・改善
生徒指導	・定期的な校内・寮内巡視などを通した礼儀、挨拶、生活指導 ・思いやりの心、気配りの心、自ら進んで取組む意欲を持った心豊かな生徒の育成 ・農生会執行部や各委員会の自発的な活動の推進と取組内容の改善 ・道徳教育の共通理解と全体計画に沿った教育活動の展開 ・個々の生徒が発するサインを見逃さない観察と教育相談での生徒の困り感の改善サポート ・特別活動や部活動の充実を図り生徒の多面的な成長を促す指導、支援の推進
進路指導	・人生観やライフステージを意識できる系統的な進路指導の展開 ・専門教育や産業教育を活用した実学実践の展開 ・自己理解を深め、自己実現を図る系統的なキャリア教育の実践と指導内容の充実 ・教員間での生徒情報の共有化と保護者も含めた個別支援・サポート機能の強化 ・校内分掌間や外部機関と連携した進路指導・進路先開拓の推進 ・進路実現につながる外部実習の充実指導及びその事前・事後指導の徹底
健康・安全指導	・保健安全計画に基づいた効果的な指導の展開 ・迅速な情報収集と日常的な危機管理意識の共有、具体策の推進 ・保護者や各家庭、関係機関との連携を密にした適切かつ迅速な対応 ・生徒による自主的な学校環境の充実・改善を育むための活動推進 ・健康・安全に対する自己管理能力の向上と環境美化意識の高揚 ・各種特別教室、行事、部活動等を通した健康安全指導の徹底 ・日頃からの注意や点検を継続啓発した防災教育の推進

寮指導	・和敬寮生、交流センター生が安全、安心、快適に生活できる居場所づくり・施設運営 ・高校生活の素地となる基礎的な生活習慣と生活力の育成と定着 ・集団生活を通じた共同精神の育成と集団行動力の定着 ・三年間をかけた学年を超えた仲間意識の醸成 ・和敬寮や交流センターの日常的な生活の様子の情報発信
-----	--